

令和 元 年度

財 務 諸 表

第 1 6 期事業年度

自 平成 3 1 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 3 1 日

国立大学法人 高知大学

貸借対照表
(令和2年3月31日)

(単位:千円)

【資産の部】		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
土地	25,965,928	
減損損失累計額	<u>△ 110,698</u>	25,855,230
建物	37,996,509	
減価償却累計額	<u>△ 17,910,116</u>	
減損損失累計額	<u>△ 8,789</u>	20,077,604
構築物	2,884,424	
減価償却累計額	<u>△ 1,856,942</u>	1,027,481
機械装置	598,166	
減価償却累計額	<u>△ 597,922</u>	243
工具器具備品	28,106,815	
減価償却累計額	<u>△ 21,410,583</u>	6,696,232
図書		3,193,925
美術品・收藏品		31,371
船舶	38,515	
減価償却累計額	<u>△ 38,515</u>	0
車輛運搬具	121,034	
減価償却累計額	<u>△ 108,518</u>	12,516
建設仮勘定		<u>19,116</u>
有形固定資産合計		56,913,721
2 無形固定資産		
特許権		13,649
借地権		590
ソフトウェア		9,705
特許権仮勘定		76,461
電話加入権		<u>1,501</u>
無形固定資産合計		101,908
3 投資その他の資産		
投資有価証券		601,630
長期性預金		280,000
敷金		<u>756</u>
投資その他の資産合計		882,386
固定資産合計		<u>57,898,017</u>
II 流動資産		
現金及び預金		4,468,858
未収学生納付金収入	60,929	
徴収不能引当金	<u>△ 549</u>	60,379
未収附属病院収入	3,422,626	
徴収不能引当金	<u>△ 1,882</u>	3,420,743
未収入金		277,694
有価証券		2,700,000
たな卸資産		19,726
医薬品及び診療材料		76,671
前払費用		3,312
未収収益		<u>2,406</u>
流動資産合計		<u>11,029,793</u>
資産合計		<u>68,927,810</u>

【負債の部】

I 固定負債

資産見返負債

資産見返運営費交付金等	2,327,314	
資産見返補助金等	1,154,308	
資産見返寄附金	352,401	
資産見返物品受贈額	2,856,627	
特許権仮勘定見返運営費交付金等	16,379	
特許権仮勘定見返補助金	415	
特許権仮勘定見返寄附金	1,614	6,709,060

大学改革支援・学位授与機構債務負担金		232,866
長期寄附金債務		385
長期借入金		9,712,297
退職給付引当金		162,089
資産除去債務		128,845
長期未払金		40,221
長期リース債務		2,177,367

固定負債合計		<u>19,163,133</u>
--------	--	-------------------

II 流動負債

運営費交付金債務	399,988	
寄附金債務	1,772,555	
前受受託研究費	110,432	
前受共同研究費	168,650	
前受受託事業費等	5,653	
前受金	42,197	
預り科学研究費補助金等	180,772	
預り金	161,997	
一年以内償還予定大学改革支援・学位授与機構債務負担金	160,480	
一年以内返済予定長期借入金	814,295	
未払金	4,540,992	
未払費用	387,871	
未払消費税等	26,926	
賞与引当金	206,567	
リース債務	740,916	

流動負債合計		<u>9,720,299</u>
--------	--	------------------

負債合計		<u>28,883,432</u>
------	--	-------------------

【純資産の部】

I 資本金

政府出資金	<u>26,518,958</u>	
資本金合計		26,518,958

II 資本剰余金

資本剰余金	24,206,716	
損益外減価償却累計額	△ 15,510,783	
損益外減損損失累計額	△ 119,487	
損益外利息費用累計額	<u>△ 38,290</u>	
資本剰余金合計		8,538,154

III 利益剰余金

前中期目標期間繰越積立金	5,236,701	
教育研究運営改善積立金	46,200	
当期末処理損失	△ 295,636	
(うち当期総損失)	(<u>△ 295,636</u>)	
利益剰余金合計		<u>4,987,265</u>

純資産合計		<u>40,044,378</u>
-------	--	-------------------

負債純資産合計		<u>68,927,810</u>
---------	--	-------------------

損益計算書
(平成31年4月1日-令和2年3月31日)

(単位:千円)

経常費用			
業務費			
教育経費		1,407,179	
研究経費		1,125,274	
診療経費			
材料費	7,560,840		
委託費	1,117,403		
設備関係費	3,168,578		
研修費	3,798		
経費	662,807	12,513,428	
教育研究支援経費		437,482	
受託研究費		547,766	
共同研究費		177,764	
受託事業費		336,674	
役員人件費		128,475	
教員人件費			
常勤教員給与	7,630,888		
非常勤教員給与	221,417	7,852,305	
職員人件費			
常勤職員給与	7,331,706		
非常勤職員給与	2,438,281	9,769,987	34,296,338
一般管理費			1,021,954
財務費用			
支払利息		94,616	
為替差損		39	94,656
雑損			1,316
経常費用合計			<u>35,414,266</u>
経常収益			
運営費交付金収益			9,786,700
授業料収益			2,781,771
入学金収益			372,060
検定料収益			78,855
施設費収益			212,371
附属病院収益			18,738,731
受託研究収益			554,966
共同研究収益			177,892
受託事業等収益			336,852
補助金等収益			326,631
寄附金収益			512,146
資産見返負債戻入			
資産見返運営費交付金等戻入	393,328		
資産見返補助金等戻入	268,583		
資産見返寄附金戻入	74,860		
資産見返物品受贈額戻入	46,224	782,997	
財務収益			
受取利息	1,532		
有価証券利息	4,765	6,297	
雑益			
財産貸付料収入	371,873		
農場・演習林収益	26,262		
センター試験実施料収益	11,564		
その他雑益	270,372	680,073	
経常収益合計			<u>35,348,347</u>
経常損失			△ 65,919
臨時損失			
固定資産除却損		204,957	
過年度人件費		224,801	
過年度診療報酬返還損		5,686	435,445
臨時利益			
固定資産売却益		12	
資産見返運営費交付金等戻入		0	
資産見返物品受贈額戻入		0	
資産見返寄附金戻入		18,592	
資産見返補助金等戻入		0	
建設仮勘定見返施設費戻入		181,440	
受取保険金		5,684	205,728
当期純損失			△ 295,636
前中期目標期間繰越積立金取崩額			-
当期総損失			<u>△ 295,636</u>

キャッシュ・フロー計算書
(平成31年4月1日-令和2年3月31日)

(単位:千円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 12,931,820
人件費支出	△ 18,022,096
その他の業務支出	△ 881,113
運営費交付金収入	10,199,600
授業料収入	2,538,355
入学金収入	324,610
検定料収入	78,855
附属病院収入	18,764,758
受託研究収入	548,683
共同研究収入	204,708
受託事業等収入	232,392
預り科学研究費補助金等の増減額	13,600
補助金等収入	607,328
補助金等の精算による返還金の支出	-
寄附金収入	595,188
その他の収入	686,875
小計	2,959,926
国庫納付金の支払額	-
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,959,926
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△ 13,000,000
有価証券の償還による収入	12,400,000
定期預金の預入れによる支出	△ 380,000
定期預金の払戻しによる収入	1,449,700
有形固定資産の取得による支出	△ 1,982,309
無形固定資産の取得による支出	△ 28,229
有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入	12
共同運用預り金の返還による支出	△ 3,700,435
共同運用預り金の受入による収入	3,700,435
施設費による収入	1,353,408
施設費の精算による返還金の支出	-
大学改革支援・学位授与機構への納付による支出	-
金銭出資による支出	-
小計	△ 187,417
利息及び配当金の受取額	6,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 180,538
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	-
短期借入金の返済による支出	-
国立大学法人等債の償還による支出	-
国立大学法人等債の発行による収入	-
長期借入れによる収入	842,490
長期借入金の返済による支出	△ 642,309
大学改革支援・学位授与機構借務負担金の返済による支出	△ 202,421
リース債務等の返済による支出	△ 777,555
小計	△ 779,795
利息の支払額	△ 95,793
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 875,588
IV 資金増加額	1,903,798
V 資金期首残高	2,013,759
VI 資金期末残高	3,917,558

損失の処理に関する書類

(単位:円)

I 当期未処理損失		295,636,175
当期総損失	295,636,175	
II 損失処理額		
前中期目標期間繰越積立金取崩額		295,636,175
III 次期繰越欠損額		0

国立大学法人等業務実施コスト計算書

(平成31年4月1日 - 令和2年3月31日)

(単位:千円)

I 業務費用			
(1) 損益計算書上の費用			
業務費	34,296,338		
一般管理費	1,021,954		
財務費用	94,656		
雑損	1,316		
臨時損失	<u>435,445</u>	35,849,712	
(2) (控除)自己収入等			
授業料収益	△ 2,781,771		
入学料収益	△ 372,060		
検定料収益	△ 78,855		
附属病院収益	△ 18,738,731		
受託研究収益	△ 554,966		
共同研究収益	△ 177,892		
受託事業等収益	△ 336,852		
寄附金収益	△ 512,146		
資産見返運営費交付金等戻入	△ 26,952		
資産見返寄附金戻入	△ 74,860		
財務収益	△ 6,297		
雑益	△ 528,785		
臨時利益	<u>△ 24,288</u>	<u>△ 24,214,462</u>	
業務費用合計			11,635,250
II 損益外減価償却相当額			
			832,887
III 損益外減損損失相当額			
			-
IV 損益外利息費用相当額			
			3,737
V 損益外除売却差額相当額			
			27,413
VI 引当外賞与増加見積額			
			11,371
VII 引当外退職給付増加見積額			
			△ 132,014
VIII 機会費用			
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料 による貸借取引の機会費用	9,384		
政府出資等の機会費用	<u>1,564</u>		10,948
IX (控除)国庫納付額			
			-
X 国立大学法人等業務実施コスト			
			<u>12,389,594</u>

注 記 事 項

(重要な会計方針)

国立大学法人会計基準（「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」報告書）（国立大学法人会計基準等検討会議 平成30年6月11日改訂）及び「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針（文部科学省、日本公認会計士協会 平成31年1月31日最終改訂）を適用して、財務諸表等を作成している。

1. 運営費交付金収益及び授業料収益の計上基準

原則として、期間進行基準を採用している。ただし、退職一時金に充当される運営費交付金については費用進行基準を、「基幹運営費交付金(機能強化経費)」及び「特殊要因運営費交付金」に充当される運営費交付金の一部については、文部科学省の指定に従い業務達成基準あるいは費用進行基準を採用している。

なお、「国立大学法人高知大学業務達成基準取扱要領」に基づき学長の承認を得た事業については、業務達成基準を採用している。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用している。

耐用年数については、法人税法に基づく耐用年数を採用、受託研究収入等により購入した償却資産については当該受託研究等の期間を耐用年数としている。

主な資産の耐用年数は以下のとおりである。

建 物	8～50年
構 築 物	10～60年
機 械 装 置	5年
工 具 器 具 備 品	1～20年
船 舶	5年
車 輛 運 搬 具	4～7年

また、特定の償却資産（国立大学法人会計基準第84）及び資産除去債務に対応する特定の除去費用等（国立大学法人会計基準第90）に係る減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示している。

(2) 無形固定資産

定額法を採用している。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいている。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金及び見積額の計上基準

運営費交付金で財源措置されない職員に対して、支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上している。

なお、国立大学法人等業務実施コスト計算書における引当外賞与増加見積額は、当事業年度末の引当外賞与見積額から前事業年度末の同見積額を控除した額を計上している。

(2) 退職給付引当金及び見積額の計上基準

運営費交付金で財源措置されない職員に対して、当期末における自己都合要支給額の100%を計上している。

なお、国立大学法人等業務実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、国立大学法人会計基準第35に基づき計算された退職一時金に係る退職給付引当金の当期増加額を計上している。

(3) 徴収不能引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

4. 退職給付に係る会計処理

(1) 職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度を採用している。当該制度では、給与と勤務時間に基づいた一時金を支給しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算している。

(2) 確定給付制度

①簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	145,437千円
退職給付費用	48,681千円
退職給付の支払額	<u>32,028千円</u>
期末における退職給付引当金	162,089千円

②退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	48,681千円
----------------	----------

5. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 満期保有目的債券

償却原価法（定額法）

(2) その他有価証券

時価のないもの

移動平均法による原価法

6. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 医薬品及び診療材料

評価基準 低 価 法

評価方法 移動平均法

ただし、当面の間、評価方法は最終仕入原価法による。

(2) 貯蔵品

評価基準 低 価 法

評価方法 最終仕入原価法

7. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理している。

8. 国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃借料を参考に計算している。

(2) 政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

令和2年3月末における10年国債（新発債）の利回りを参考に0.005%で計算している。

9. リース取引の会計処理

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

10. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式による。

(注記事項)

1. 貸借対照表関係

(1) 引当外退職給付引当金の見積額

9,281,797千円

(2) 引当外賞与引当金の見積額

778,700千円

(3) 債務保証の総額

393,347千円

(4) 担保に供している資産

土地

4,299,078千円

建物

7,467,289千円

担保提供資産に対応する債務残高

10,526,592千円

(5) 利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

①国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの（長期借入金を含む）

附属病院に関する借入金の元金償還額の累計 13,421,946千円

当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計 9,492,259千円

利益剰余金に与える影響額（差引き） 3,929,687千円

②国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額の累計 756,805千円

③国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの 405,727千円

④国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資でなく譲与としたことによるもの 177,406千円

5,269,626千円

(6) 土地の譲渡に伴う資本金の減少

該当無し

2. 損益計算書関係

(1) 当期総損失のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

①国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの（長期借入金を含む）

附属病院に関する借入金の元金償還額	844,730千円
当該借入金により取得した資産の減価償却費	924,761千円
当期総損失に与える影響額（差引き）	△80,031千円

②国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額

	-千円
	△80,031千円

3. キャッシュ・フロー計算書関係

(1) 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	4,468,858千円
定期預金	△551,300千円
資金期末残高	3,917,558千円

(2) 重要な非資金取引

①現物寄附の受入による資産の取得

工具器具備品	27,458千円
図書	1,916千円
合計	29,374千円

②ファイナンス・リースによる資産の取得

工具器具備品	15,752千円
--------	----------

4. 国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

機会費用の計上方法は重要な会計方針に記載している。

5. 固定資産の減損

(1) 減損を認識した固定資産

該当なし

(2) 翌事業年度の特定の日以降使用しない決定を行った固定資産

①使用しないという決定を行った固定資産の用途、所在、種類、帳簿価額等の概要

(単位：千円)

使用しないという決定を行った固定資産	用途	所在	種類	令和元年度末帳簿価額
附属病院棟	病院	高知県南国市岡豊町小蓮	建物・建物附属設備	135,699
第二病棟渡り廊下	病院	高知県南国市岡豊町小蓮	建物	2,566

②使用しなくなる日

使用しないという決定を行った固定資産	使用しなくなる日
附属病院棟及び第二病棟渡り廊下	令和3年8月(予定)

③使用しないという決定を行った経緯及び理由

医学部附属病院再開発計画の検討の結果、附属病院棟の東病棟部分を取壊し、その跡地に新病棟を建築する案を採択し、使用しない決定を行いました。

④回収可能サービス価額及び減損額の見込額

(単位：千円)

使用しないという決定を行った固定資産	使用しなくなる日における帳簿価額	回収可能サービス価額	減損見込み額
附属病院棟及び第二病棟渡り廊下	138,265	-	138,265

6. 重要な債務負担行為

(1) PFI法に基づく事業に類似するサービス事業 (岡豊団地)

件名	契約期間	契約金額
国立大学法人高知大学医学部附属病院 アメニティ施設整備運営事業固定資産貸付	平成31(2019)年4月1日 ～令和20(2038)年8月31日	500,831千円

(注) PFIによるサービス部分の対価の支払予定額及び収入予定額は次のとおりである。

- ・貸借対照表日後1年以内のPFIに類似する期間に係る未経過費用 … 25,806千円
 - ・貸借対照表日後1年を超えるPFIに類似する期間に係る未経過費用 … 449,454千円
- なお、当該支払額は改定される場合がある。
- 当事業について、上記契約先に対して建物の底地を賃貸している。
- ・当賃貸契約による貸借対照表日後1年以内のPFIに類似する期間に係る収益 … 67,812千円
 - ・当賃貸契約による貸借対照表日後1年を超えるPFIに類似する期間に係る収益 … 1,181,059千円

7. 金融商品関係

(1) 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については大学改革支援・学位授与機構からの借入れに限定している。

資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき預金及び国債を保有している。また、寄附により株式を保有しているが、寄附目的が本学の業務を不当に拘束することはない。

未収附属病院収入は、債権管理細則に沿ってリスク管理を行っている。

大学改革支援・学位授与機構債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施している。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。

なお、時価等を把握することが極めて困難と思われる非上場株式等は、次表には含めていない。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額(*1)	時価(*1)	差額(*1)
(1) 投資有価証券及び有価証券			
満期保有目的債券	3,301,245	3,344,430	43,184
(2) 長期性預金	280,000	281,222	1,222
(3) 現金及び預金	4,468,858	4,468,858	-
(4) 未収附属病院収入	3,422,626	3,422,626	-
徴収不能引当金(*2)	△ 1,882	△ 1,882	-
	3,420,743	3,420,743	-
(5) 大学改革支援・学位授与機構債務負担金	(393,347)	(404,607)	(11,260)
(6) 長期借入金	(10,526,592)	(10,925,982)	(399,390)
(7) リース・割賦債務	(2,998,475)	(3,067,937)	(69,461)
(8) 未払金	(4,501,022)	(4,501,022)	-

(*1) 負債に計上されているものは、()で示している。

(*2) 未収附属病院収入に個別に計上している徴収不能引当金を控除している。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1) 投資有価証券及び有価証券

国債については、日本証券業協会が公表している公社債店頭売買参考統計値による。

譲渡性預金(貸借対照表計上額 2,700,000千円)については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。

(2) 長期性預金

これらの時価については、期間に基づく区分ごとに、新規に預金を行った場合に想定される預金金利で割り引いた現在価値による。

(3) 現金及び預金、並びに(4) 未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。なお、未収附属病院収入のうち貸倒懸念債権については、担保又は保障による回収見込額等により、時価を算定している。

(5) 大学改革支援・学位授与機構債務負担金、(6) 長期借入金及び(7) リース・割賦債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引または割賦購入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定している。

なお、大学改革支援・学位授与機構債務負担金については一年以内償還予定額を、長期借入金については一年以内返済予定額を、リース・割賦債務については長期リース債務・未払金・長期未払金のうち割賦債務に該当するものを、それぞれ含んでいる。

(8) 未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。

8. 賃貸等不動産関係

当法人は、高知県において、賃貸等不動産を保有しているが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略している。

9. 資産除去債務関係

(1) 資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

① 当該資産除去債務の概要

石綿障害予防規則等に伴う建物のアスベスト除去費用等である。

② 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を残存耐用年数に基づいて見積り、割引率は期間に応じた国債利回りを使用して金額を計算している。

③ 当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

変動の内容	当事業年度における総額の増減
期首残高	167,081千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	一千円
時の経過による調整額	3,737千円
資産除去債務の履行に伴う減少額	41,972千円
期末残高	128,845千円

10. 重要な後発事象

該当なし